



第 21 号 千 町 田

上半期を振り返って

副代表理事 河津 一行



稲刈りが始まり、秋の気配が深まってまいりました。夏には第4回きてごしない祭りを開催し、皆様には多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

また理事役員は任期が3年です。で次は選出されないことも考えられます。もし9人全員が変わったら事業の継続はかなり無理があると思います。

のきの郷の事業の中で新しい取り組みとして今年からキャベツ栽培を始めています。そのほかにも昨年と比較して少しずつ事業は拡大しているところです。その中で気になるのは事業をこれまで担ってきた組合員の高齢化に伴う出役の減少です。事業拡大の中、将来を担う若い人たちを取り入れていくことがこれからの課題かと思えます。しかしながら、若い人たちは農業に取り組み意思があるのか疑問に思います。定年後の活躍がかららないでしょうか。

現在の理事役員は私も含めて全員が非常勤勤務であり、他の仕事を抱えていたり家庭の諸事情があったり、のきの郷に対して100%取り組むことが出来ずいます。

そこで、核となる職員を雇用しておくことがこれからは必要です。現在で言うなら総務部長や営農部長は常時雇用して長年継続して勤務いただく必要があります。現在のきの郷では就業規則を整備し検討に入っています。のきの郷の発展のために能力のある人材を育成していかなければなりません。それこそ皆さんの農地を守り、地域を守り、そして故郷を守ることにつながっていくと私は思っています。

上半期が終わる中、これからのきの郷の将来を一緒に考えていきましょ

う。ご協力をお願いいたします。



第4回 きてごしない祭り

8月20日(土)に第4回きてごしない祭りを開催しました。

昨年同様に夕方開催とし、バンド生演奏、焼きそばなどの屋台や子供たちも楽しめる人形すくい、そして豪華景品の当たる大抽選会を行いました。

組合員の皆様はもとよりご家族の方、小さいお子さんまでも大勢の方に参加いただきにぎやかに開催することができました。

準備、運営、片付けなど参加いただいた皆様も暑い中大変お疲れさまでした。



平成28年度上半期事業報告
8月21日(日)に上半期の事業報告および監査会を開催しました。今年度の事業予定についての進行状況の説明、事業収支などの説明を行いました。

稲刈りが始まっています

9月初めより稲刈りが始まっています。つや姫、コシヒカリ、きぬむすめ、もち米、にこまる、飼料用米と進めていきます。保有米などの引



取依頼は品種ごとに随時行っています。ご協力をお願いします。



とまとが熟れています

とまとの収穫が最盛期を迎えています。主に道の駅、グリーンセンターにて販売しています。市場出荷も積極的にやっているのです。スーパー店頭でも、のきの郷のとまとを見かけられると思います。事務所前ののぼりを立てて販売もしていますので、ぜひお買い求めください。



飼料用稲刈り

WCS（飼料用稲）栽培は、今年7月に畜産クラスター事業に採択され、刈取りから集草、ラッピング、荷役運搬についての機械導入を行いました。早速、8月中旬に約9.4ha余りの刈取りを行いました。ただし、導入が間に合わなかった刈取り機械については、代替機械や作業委託などで作業を進めました。



のきの郷産なたね油 予約受付開始

いよいよ28年産なたね油の販売予約受付を開始します。大びんやギフト用箱入りを準備していますのでご利用ください。品物の引渡しは11月中旬予定です。ご注文いただいた方に個別で引取りのご案内をいたしますのでご了承ください。たくさんの方の申込みをお待ちしております。

能義小学校

稲刈り体験

9月6日(火)

能義小学校5年生を対象に稲刈りの体験学習がありました。台風一過の秋晴れ



のもと寿会の皆さんに鎌の扱い方や稲への手の添え方などご指導いただきながら、慣れない鎌をもって小学校近くの圃場で稲刈り体験をしました。



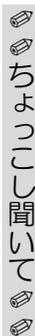
キャベツ栽培始まる

WCS刈取り後の圃場でキャベツ栽培を始めました。主に加工用としてJAを通して販売します。合わせてグリーンセンターなどでも販売しますのでお楽しみに。



お知らせ

今年も美味しまね認証の「コマシヤル」に、とまと作業に出られる皆さんが登場しています。山陰中央テレビで随時放映されています。また、美味しまね認証のPRを行うため「対象産物を使った料理をシェフが作り試食する」というテレビ番組企画があり、3団体3品目の中にのきの郷のとまとが対象となり撮影が行われました。放映は山陰中央テレビで10月29日(土)午後9時(予定)です。放送をお楽しみに！



暑いと思うと涼しくなり、もう秋だなと思えばまた夏の日差し。こんな繰り返しでもだんだん秋らしくなってきました。長雨が続きませんが稲刈り時期のタイミングを逃さぬように作業は進められています。(カ)

